

子ども参画！子どもが育つ空間づくり

地域活動支援指導者養成研修会

日時：平成25年10月1日（火）

会場：宮城県大河原合同庁舎別館2階第2会議室 参加者41名

<趣旨>

講話や実践発表などを通して地域活動支援についての理解を深めるとともに、地域活動のサポートやコーディネートができる人材の養成を図る。子どもの遊びや体験活動の場が少なくなっている現実を踏まえ、体験活動の場づくりに関する研修会を実施する。

事例提供 柴田町「子どもフェスティバル」

発表者:柴田町教育委員会生涯学習課 加藤 栄一 氏

講演 「平山流! 子ども力の活かし方」

講師:NPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘 理事長 平山 乾悦 氏

【柴田町子どもフェスティバル】

事例紹介の中で、「子どもが主役」のコンセプトのもと、ジュニア・リーダーを交えて子どもたちが話し合い活動をし、自分たちで遊びを決めていくという過程が紹介されました。

大人がお膳立てした遊び場ではなく、子どもたちが主体的に自分たちで楽しみたい遊びを考え、ジュニア・リーダーがその話し合いのサポートをするという関わり方を演出しているところにこの「子どもフェスティバル」のイベントのもつ教育的価値の高さを感じました。

地域の大人の役割は【話を聴いてあげること】

講演の中で平山さんは、現代の子どもたちのおかれている環境や地域の大人の関わり方・役割について自身の経験をもとにお話されました。

その中で、地域の大人の関わり方の一つとして、地域の大人は、親や学校の先生の役割をする必要はなく、地域の子どもの話を聴いてあげられる存在であることが大切だろうということをお話されました。

親でも学校の先生でもない子どもとの距離感こそ、地域の大人のもつ強みなのだと感じました。



【参加者の声(一部抜粋)】

○社会教育の事業も含めて、子どもたちへのアプローチが何の役に立っているのか意義を見失う気持ちになっていたのが洗われるようでした。自身の身の回りの子どもにもう一度目を向けてみようと思いました。(50代女性)

○地域のおばさんになって、子どもたちの話を聴いてあげられる人になろうと考えさせられました。(50代女性)